

中ノ町小学校 実践報告

(1) 実践内容

各時間の中で取り組んだ実践について紹介します。(対象は6年生)

☆絵本の読み聞かせ

2学期から、絵本の読み聞かせを行った。「Hi friends!」で学んだフレーズを活用しながら、子供とのやり取りを行った。いろいろな場面でフレーズを活用できるよう、多少アレンジを加えながら読み聞かせを行った。子供たちは日本の絵本とは色遣いや絵の描き方が違うことに興味をもち、英語での読み聞かせを楽しむことができた。



☆教師による英語でのスピーチ

外国語活動の始めに、教師による英語でのスピーチを行った。自分の海外生活での経験を生かし、写真や実物を提示しながら簡単なフレーズを駆使して英語で子供たちに語りかけた。スピーチの最後には簡単なクイズを加え、内容を理解しているかどうかの確認をした。この活動を通して、子供の英語を聞いて理解しようとする態度に変化が見られ、教師の語りかけに反応したり、異文化に興味を示したりするようになった。

<トピック例>

- ・現地の小学校生活
- ・学校の制服事情
- ・食べ物の紹介
- ・民族衣装の紹介
- ・観光案内 など

☆ALTの特性を生かした team teaching

ALTの訪問時には、ALTの母国に関わる文化的なトピックを設定し、活動を組み立てを行った。どのALTも母国の文化や歴史を背負って来日しており、その特性を外国語活動に生かすことができるようにした。ALTの授業作りへの意欲も非常に高く、子供たちは興味をもって授業に臨むことができた。

<トピック例>

- ・イギリスのランチタイム
- ・アメリカの一日の学校生活
- ・ハロウィンの過ごし方
- ・感謝祭 (Thanks giving)
- ・クリスマスの過ごし方 など

活動展開例

- ① ALTがその日のトピックについて紹介する。
- ② 児童が日本文化を簡単な英語と非言語で紹介する。(5分程度)
- ③ トピックに関係するアクティビティを行う。

(2) 成果と課題

【成果】

外国語に対する興味が高まったり、異文化に対する理解が深まったりしている。教室内外はすべて英語で行っているが、始めは抵抗感があった子供たちも、英語の聞き取りに積極的になった。

【課題】

英語を聞いて理解しようとする態度が見られるようになったが、教師の質問に対する答えや友達とのやりとりは日本語で行っている。習ったフレーズを積極的に活用しようとする態度が不十分である。